

AVANT GROUP

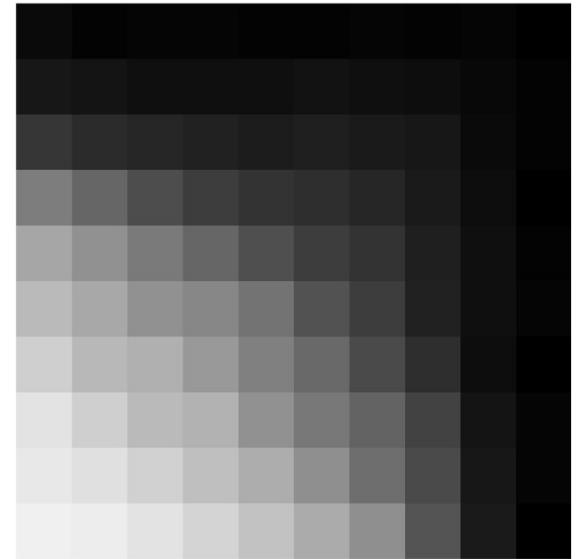
3836 東証プライム市場

株式会社アバントグループ[®]

Investor Presentation

2025年11月26日

AVANT GROUP CORPORATION
www.avantgroup.com

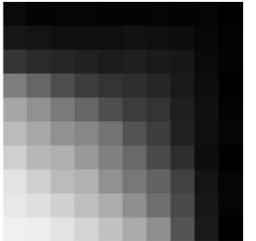


| INDEX

- I. 事業概要
- II. 中期経営計画「BE GLOBAL 2028」
- III. 2026年6月期 第1四半期業績

* 資料内の数値は表示単位未満を切捨てで表示しております。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われないようにお願いいたします。



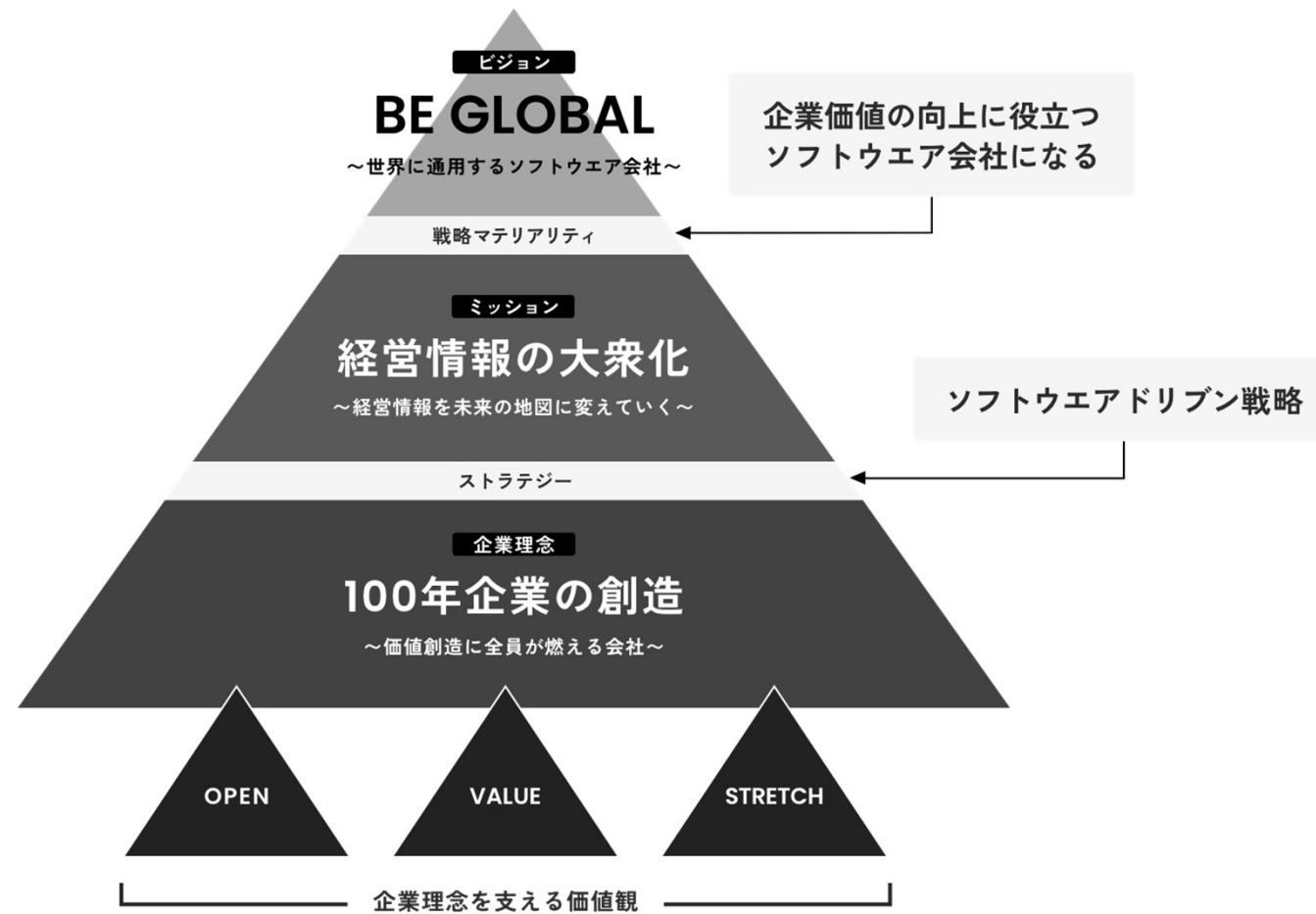
I. 事業概要

| Overview



社名	株式会社アバントグループ（東証プライム：3836）
設立	1997年5月26日
代表者	代表取締役社長 グループCEO 森川 徹治
従業員	連結1,751名（2025年9月現在）
資本金	3億4,511万3,000円
URL	https://www.avantgroup.com/
売上高	282億円（2025年6月期）
主要業務	持株会社 1. グループ会社株式保有によるグループ経営戦略の策定・管理 2. グループ会社の管理業務受託
所在地	東京都港区港南2-15-2 品川インターナシティ B棟13階
グループ会社	株式会社アバント 株式会社インターネットディスクロージャー 株式会社ジール 株式会社ディーバ 株式会社VISTA

| アバントグループの理念体系



アバントグループについて

会社名：株式会社アバントグループ（持株会社）

創業：1997年5月26日

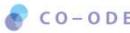
代表：代表取締役社長 グループCEO 森川 徹治

時価総額：578億円（東証プライム、証券コード3836、2025年6月末時点）

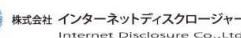
主なソフトウェア



他社ソフトウェア



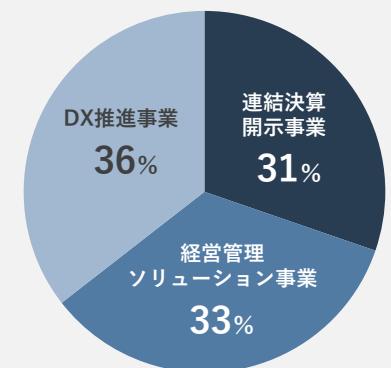
グループ会社



セグメント情報

3つのセグメント（2025年6月期）

売上高 **282 億円**



【連結決算開示事業】

連結経営支援及び連結会計向け自社パッケージソフトであるDivaSystemの開発と保守を行う他、これを利用した連結決算・単体決算のアウトソーシングを提供することで、企業の情報開示を通じた価値創造を支援している。当社グループにおける位置づけとしては、ソフトウェアビジネスとアウトソーシングビジネスを融合させたビジネスモデルの確立を目指す。また、主に監査法人などに提供している株式会社インターネットディスクロージャーによる開示書類の情報検索サービスも連結決算開示事業に含まれる。

【経営管理ソリューション事業】

グループ経営、連結会計、事業管理を中心に、企業の「見えない価値」の可視化と最大化を目的とし、コンサルティングからシステムの企画、構築、導入、運用、保守までをワンストップで支援。自社でソフトウェアを開発するとともに、他社開発のソフトウェアとの組み合わせも行っている。当社グループ資産を最大限活用し、企業価値の向上に役立つ経営情報を提供するソリューションを継続的に生み出す役割を担う。また、株式会社VISTAによる株式市場における個社のポジショニングに応じた経営コンサルティングサービスも経営管理ソリューション事業に含まれる。

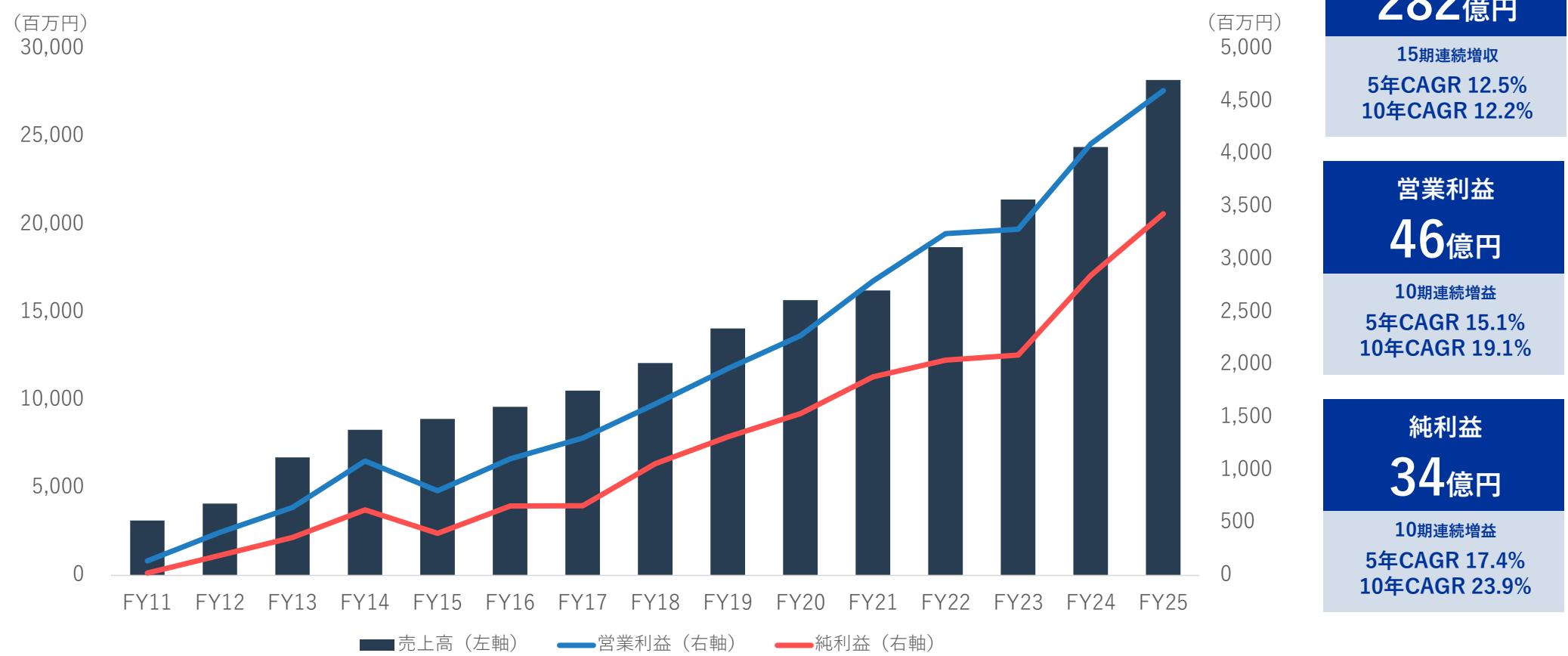
【DX推進事業】

企業を取り巻くあらゆるデータを活用するためのデータプラットフォームからデータを分析・予測・可視化するAI・BIソリューション等を、コンサルティング・システム開発を通じて提供し、企業のデジタルトランスフォーメーションやデータドリブン経営の推進を支援している。主要クラウドベンダーからマルチクラウド対応ソフトウェア、生成AIに代表される最新の技術まで、データ活用に特化した最新の情報活用方法を習得し、技術者の育成とデータ活用基盤製品の自社開発を進め、当社グループの商材を拡充することも目的とする。

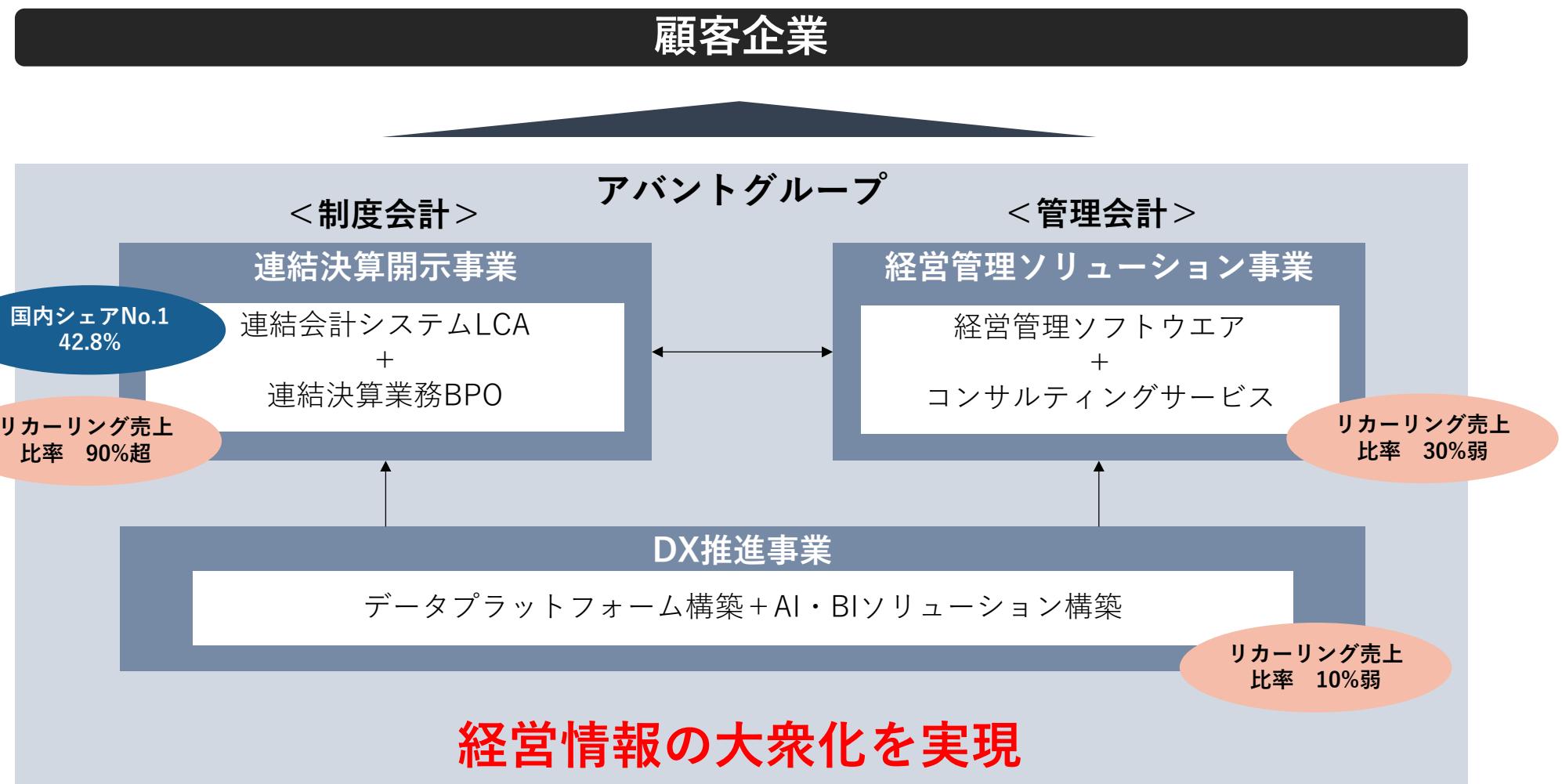
【その他】

売上高・営業利益・純利益の推移

- 持続的な成長を実現しており、15期連続増収、10期連続増益を達成
- 平均成長率は、売上高は12%、利益は20%前後の水準を達成

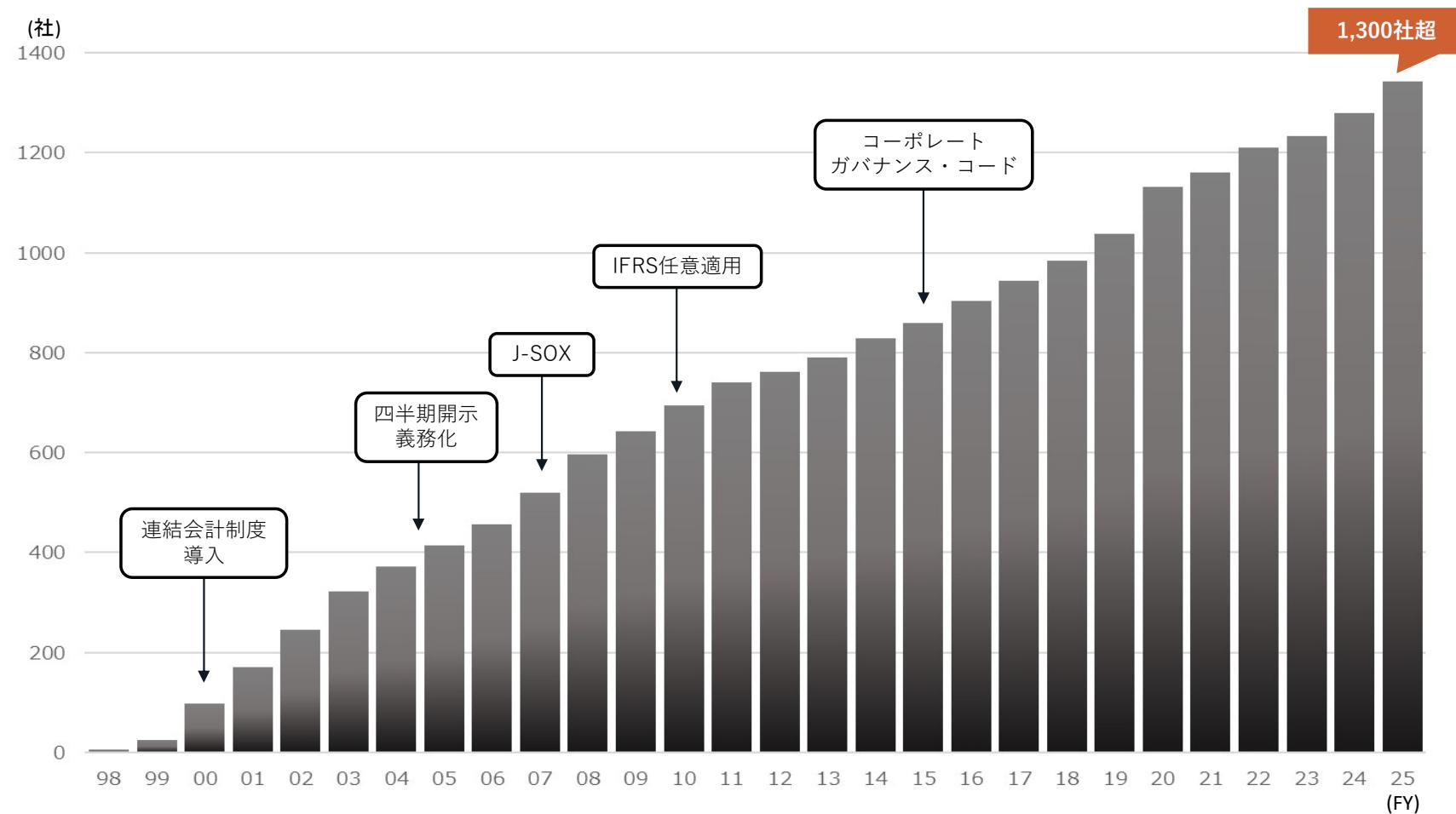


| ビジネスマodelの全体像



| アバントグループ ソフトウェア製品導入企業の推移

- ディスクロージャー規制強化に伴い、連結会計システムDivaSystem LCAが導入数をけん引



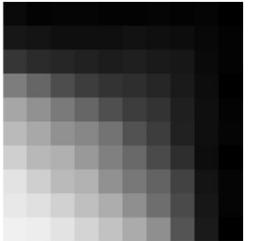
| 連結会計システムDivaSystem LCAの顧客基盤（時価総額別シェア）

- 販売実績は1,300社以上※¹
- 2024年度連結会計ソフトウェア市場シェアは42.8%※²
- 制度会計から予算・管理会計等、企業のガバナンス強化をサポート



※1 2025年6月末時点

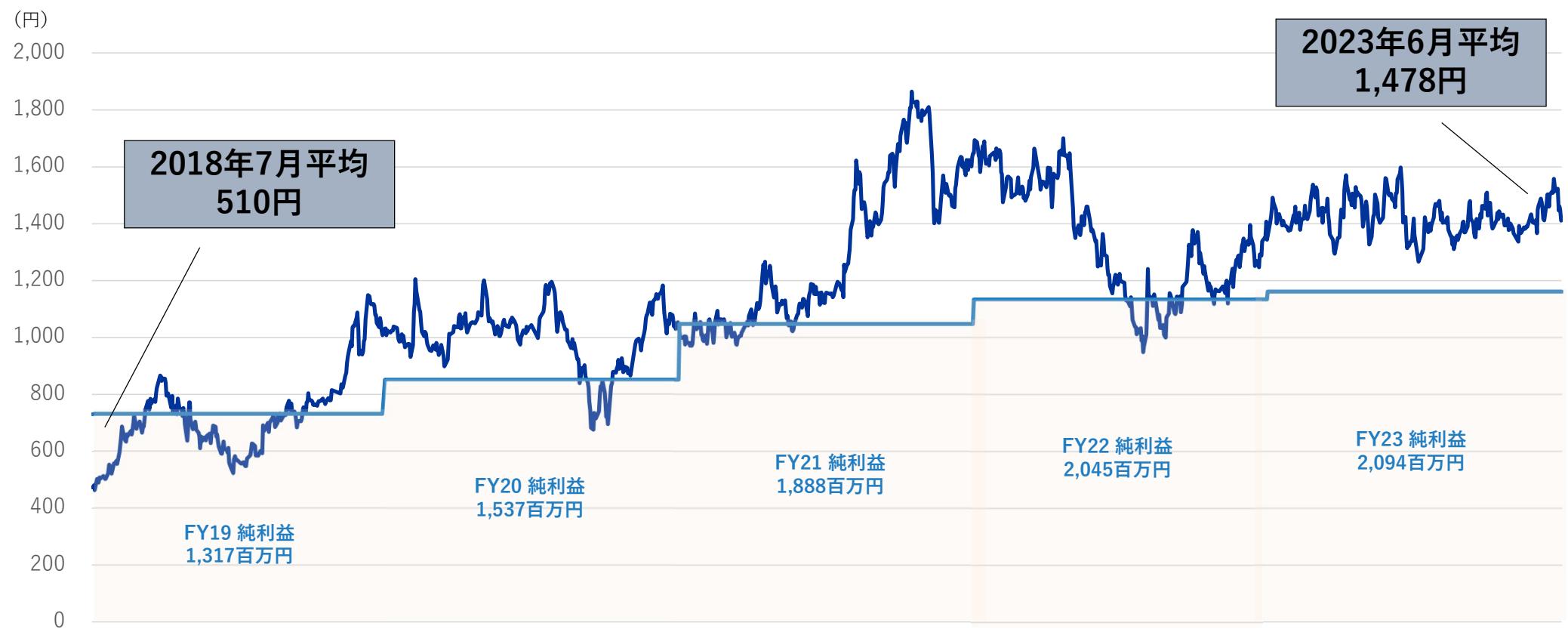
※2 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2025年版」連結会計管理ソフト 市場占有率推移<パッケージ>（2024年度実績）



II. 中期経営計画「BE GLOBAL 2028」

「BE GLOBAL 2023」の株価パフォーマンス

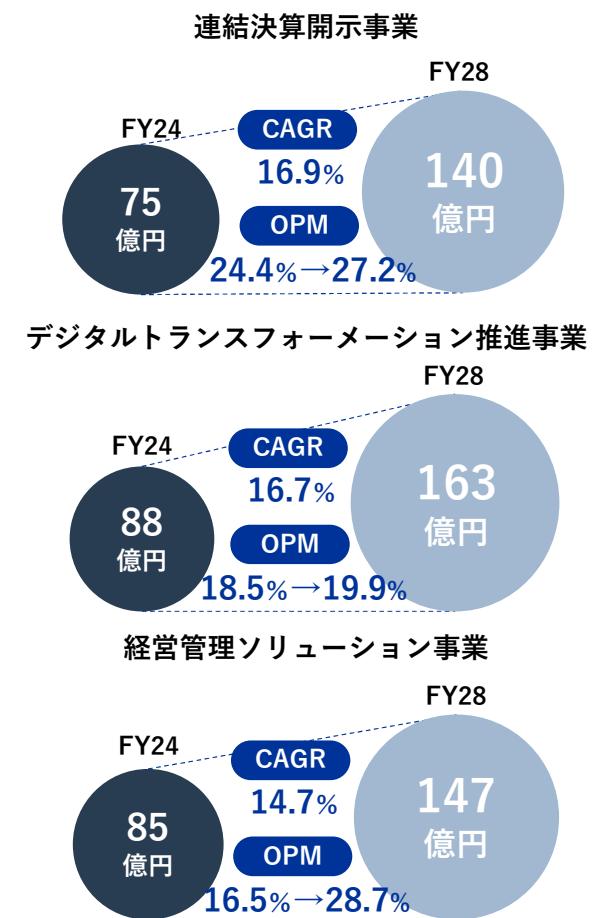
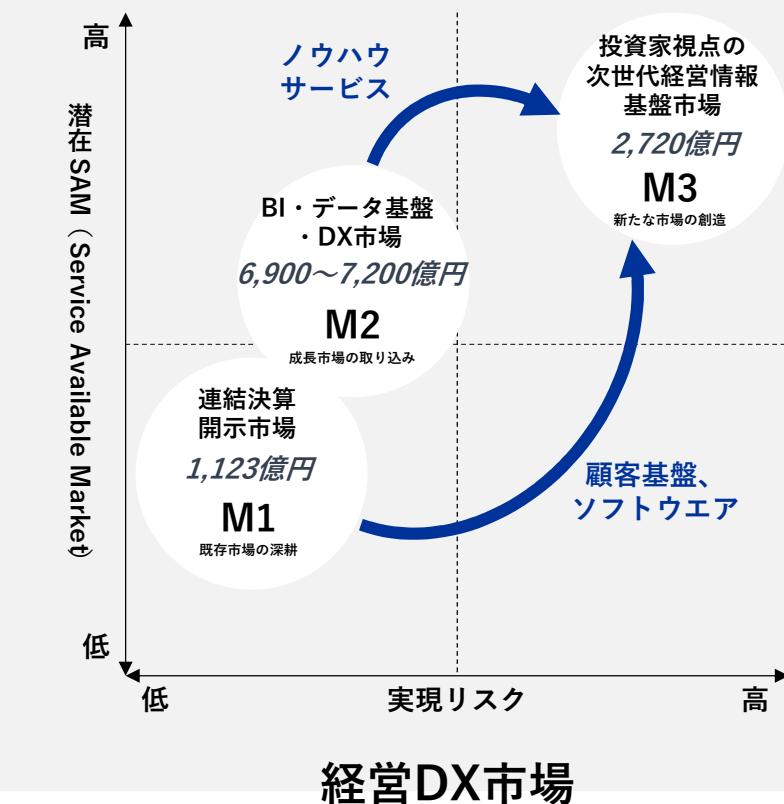
- BG23期間中に株価は約3倍へ
- 事業パフォーマンスと相関のある株価形成を進めてきた



「BE GLOBAL 2028 (BG28)」で注力する市場

- 企業価値の向上がシリアルな課題となっている企業向けの経営DX市場にポジショニングする

各市場のTAM(Total Addressable Market)と
ポジショニング



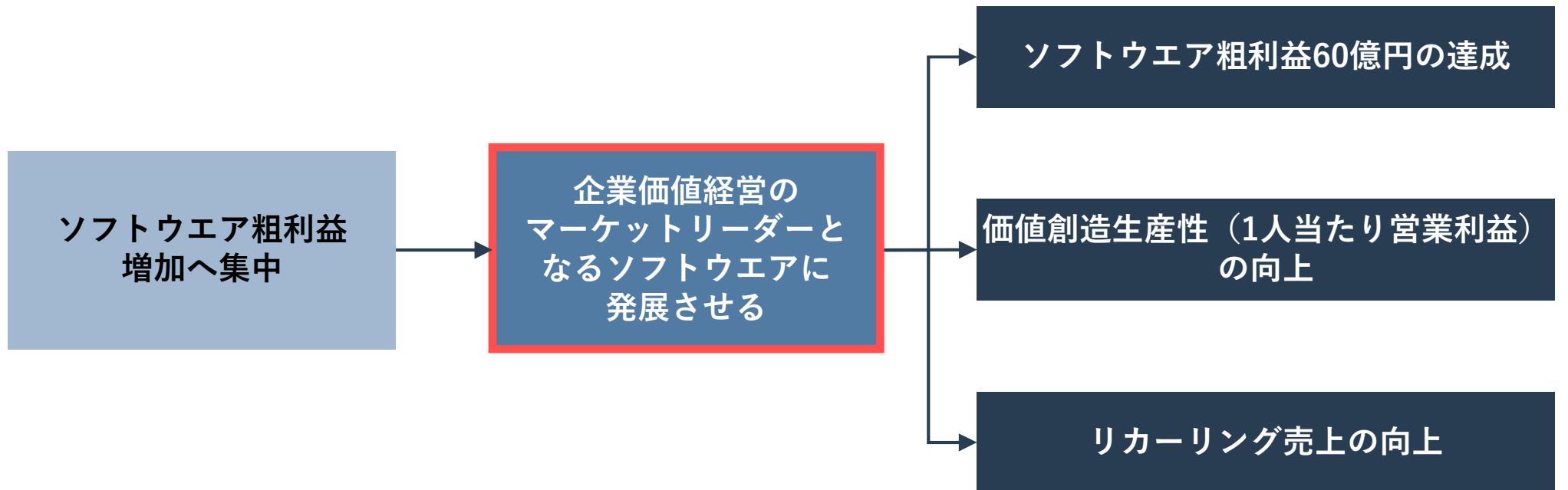
| BE GLOBAL 2028 (BG28) の目標値

- 売上高2倍、利益3倍の財務目標、戦略KPIであるソフトウェア粗利益を3倍の60億円にする計画

	FY23 実績	FY24 実績	FY25 実績	FY28 計画	5年変化/平均
売上高	21,424M	24,419M	28,227M	40,000~ 45,000M	2x
営業利益	3,289M	4,099M	4,604M	9,000~ 11,000M	3x
営業利益率	15.4%	16.8%	16.3%	20~24%	+5~9pts
純利益	2,094M	2,850M	3,434M	6,000~ 7,000M	3x/CAGR 25%
1人当たり営業利益	2.5M	2.8M	2.8M	3.9M	1.5x
ソフトウェア粗利益	2,367M	2,442M	2,823M	5,500~ 6,000M	3x
ROE	18.3%	22.3%	23.8%	20%以上	AVG20%
DOE	4.9%	5.5%	6.3%	8.1%以上	AVG7%
配当	15円	19円	25円	51円以上	3.4x

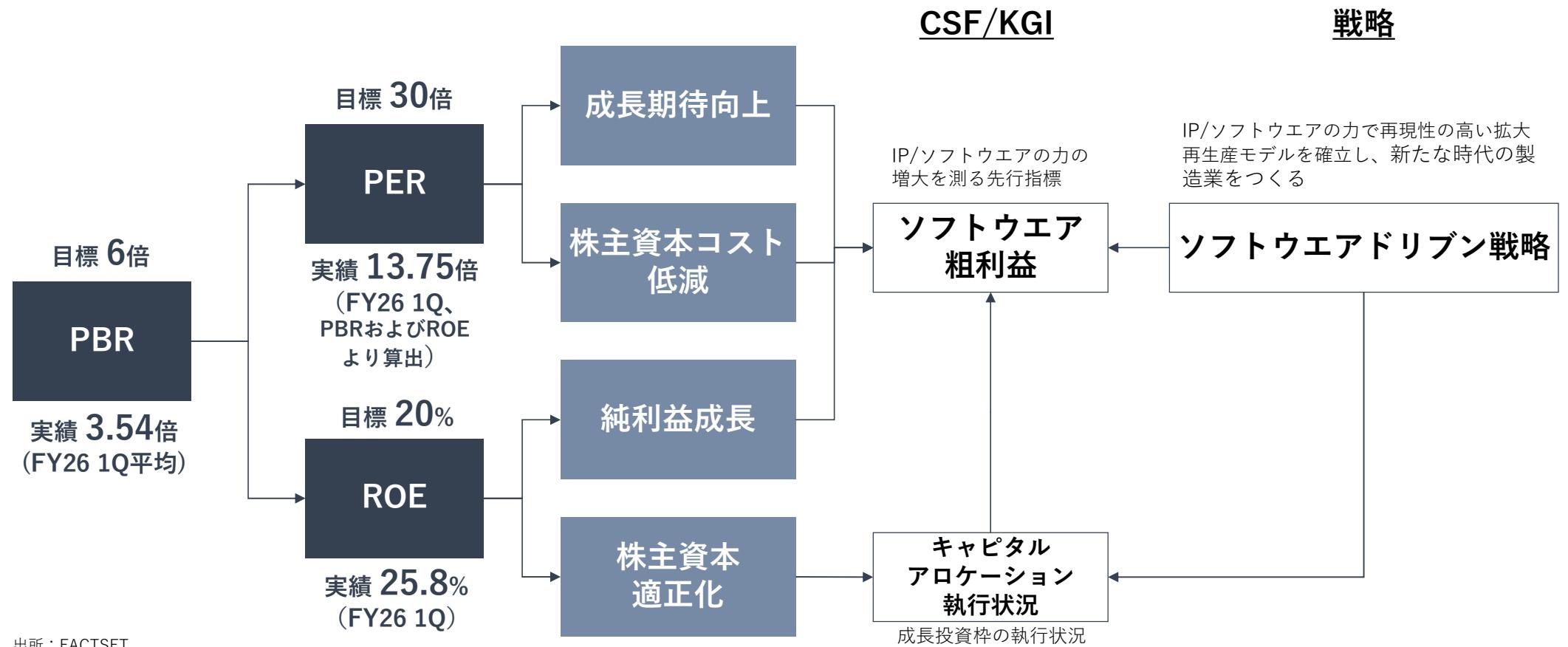
| ソフトウェア粗利益を戦略KPIにする狙い

- ソフトウェア粗利益に集中し、企業価値経営のマーケットリーダーとなるソフトウェアに発展させられれば、安定的な成長性と高い収益性を兼ね備えた事業体となる



PBR ツリーによって企業価値における目標を開示

- PBR/PER目標水準を現状水準を踏まえて設定
- 企業価値向上の最重要ドライバーはソフトウェア粗利益

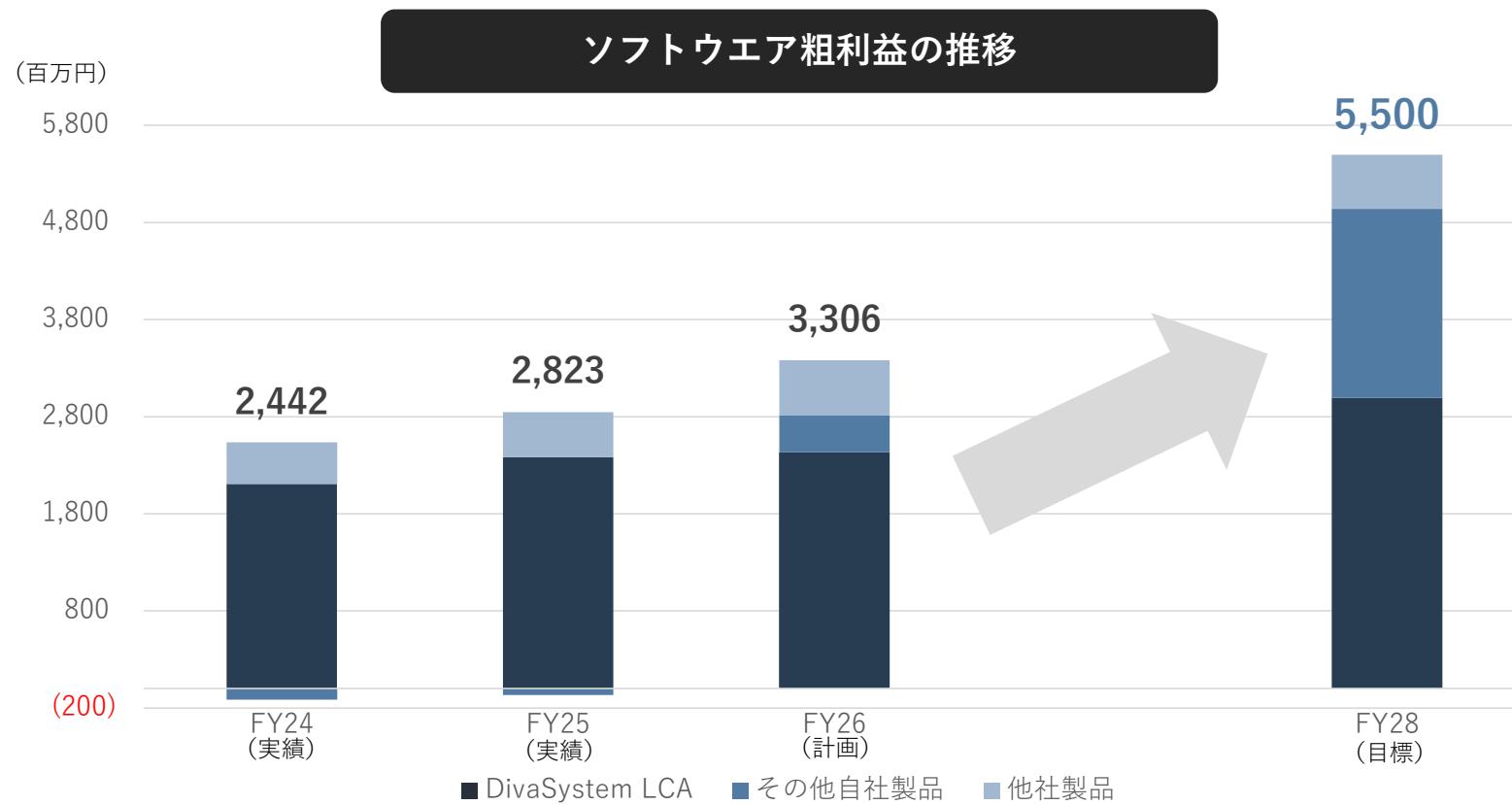


出所：FACTSET

©AVANT GROUP CORPORATION. All Rights Reserved. ■ AVANT GROUP

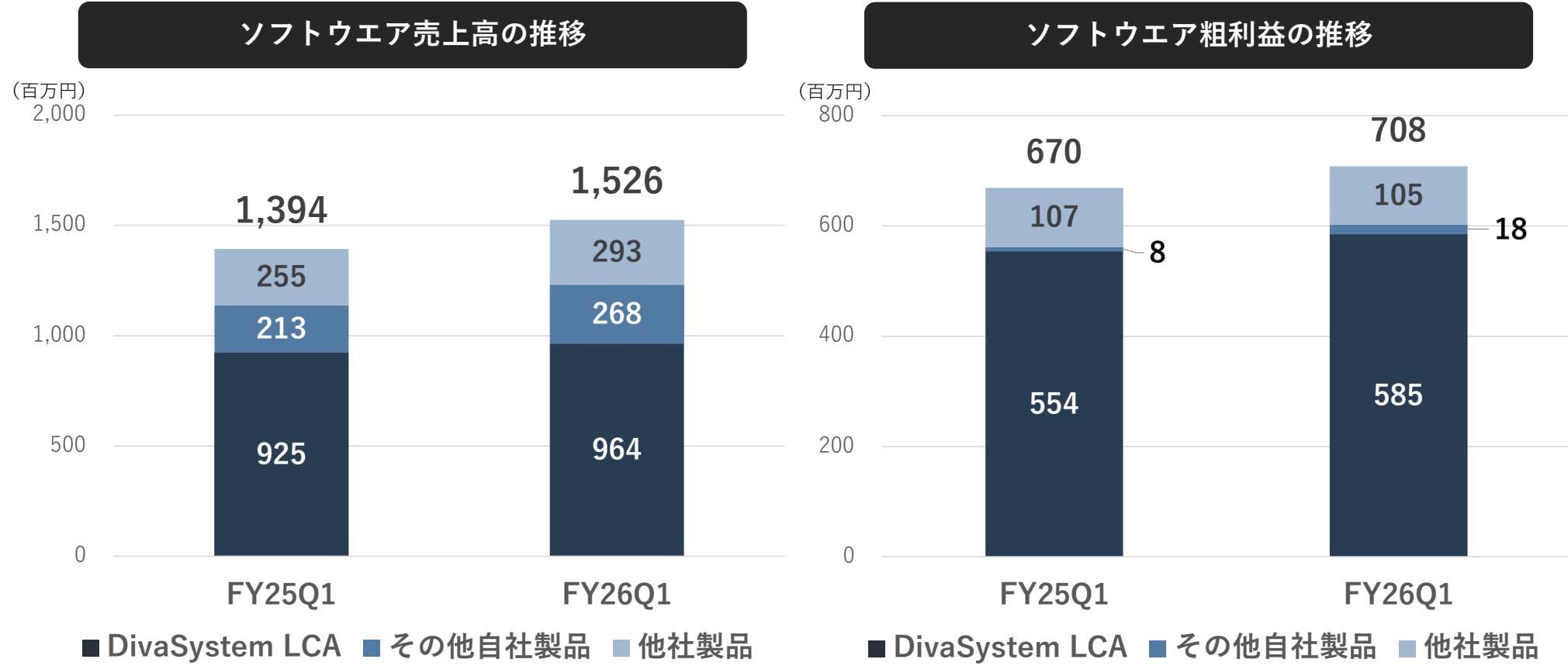
| ソフトウェア粗利益の計画

- 祖業である連結会計システムDivaSystem LCAの安定成長に加え、自社製品群の積極的な市場展開により、目標達成を確実に推進



| ソフトウェア売上高とソフトウェア粗利益の進捗状況（内訳）

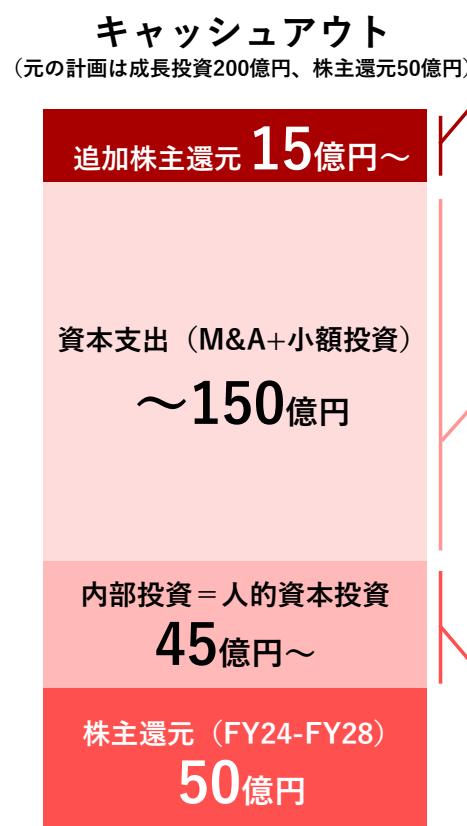
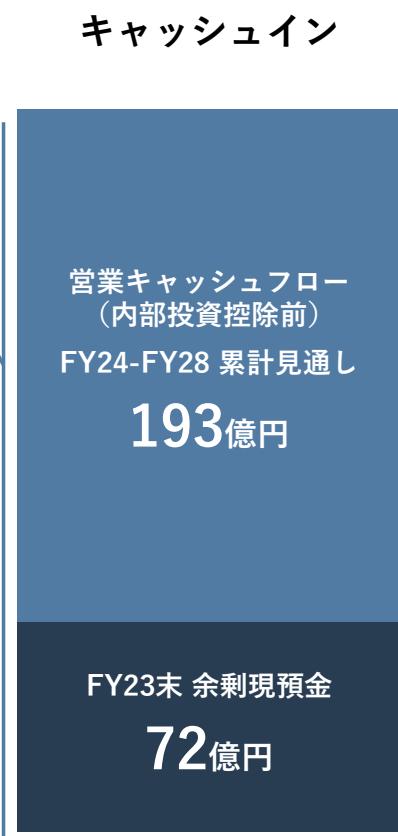
- DivaSystem LCA以外の自社製品群は26%の売上成長となったが、収益貢献は途上にある
- その他自社製品群の売上成長を加速させ、スケールさせることで収益貢献を実現させる



| キャピタルアロケーションの計画

- 一時的に純資産を減少させる手段として株主還元の枠を増やす
- 成長投資枠を確保するため、必要に応じて借入も検討

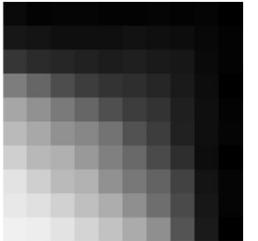
株主還元枠増の中でも、
借入によって成長投資
枠の維持・拡大を担保



- 配当および自社株買いのキャピタルアロケーションを増額
- キャッシュインの状況、成長投資の利用状況に応じてさらに増額
- 2025年11月19日に、上限150万株（自己株を除く発行済み株式数の4.1%）・20億円の自社株買い（11月28日より開始）を発表。26年6月末に消却予定

- ソフトウェア粗利額25億円の獲得が期待できるM&Aの実現に向けてアクション
- 将来への布石としてスタートアップ企業へ年間2~3件投資で総額15億円（Beyond Squareも含めると実績は8億円程度）

- 営業力や開発力の強化につながる人財の採用
- 研究開発投資
- マーケティング投資等



III. 2026年6月期 第1四半期の業績

| 2026年6月期 第1四半期 決算ハイライト

売上高

7,515 百万円

(前年同期比 + 10.9%)

営業利益

1,341 百万円

(前年同期比 + 22.8%)

当期純利益

852 百万円

(前年同期比 + 38.5%)

営業利益率

17.8 %

(前年同期比 + 1.7 pts)

1人当たり営業利益

0.8 百万円

(前年同期比 + 9.2%)

ソフトウェア粗利益

708 百万円

(前年同期比 + 5.5%)

ROE

25.8 %

(前年同期比 + 1.6 pts)

2026年6月期業績予想

- ・ 業績予想および期末配当予想の変更は無し
- ・ 2026年6月期は、売上高33,300百万円（前年同期比+18.0%）、営業利益5,100百万円（同+10.8%）、当期純利益3,500百万円（同+1.9%）を予想
- ・ 期末配当は、中期経営計画期間内の目標として掲げている純資産配当率8%の達成を志向して**1株あたり32円**を予想

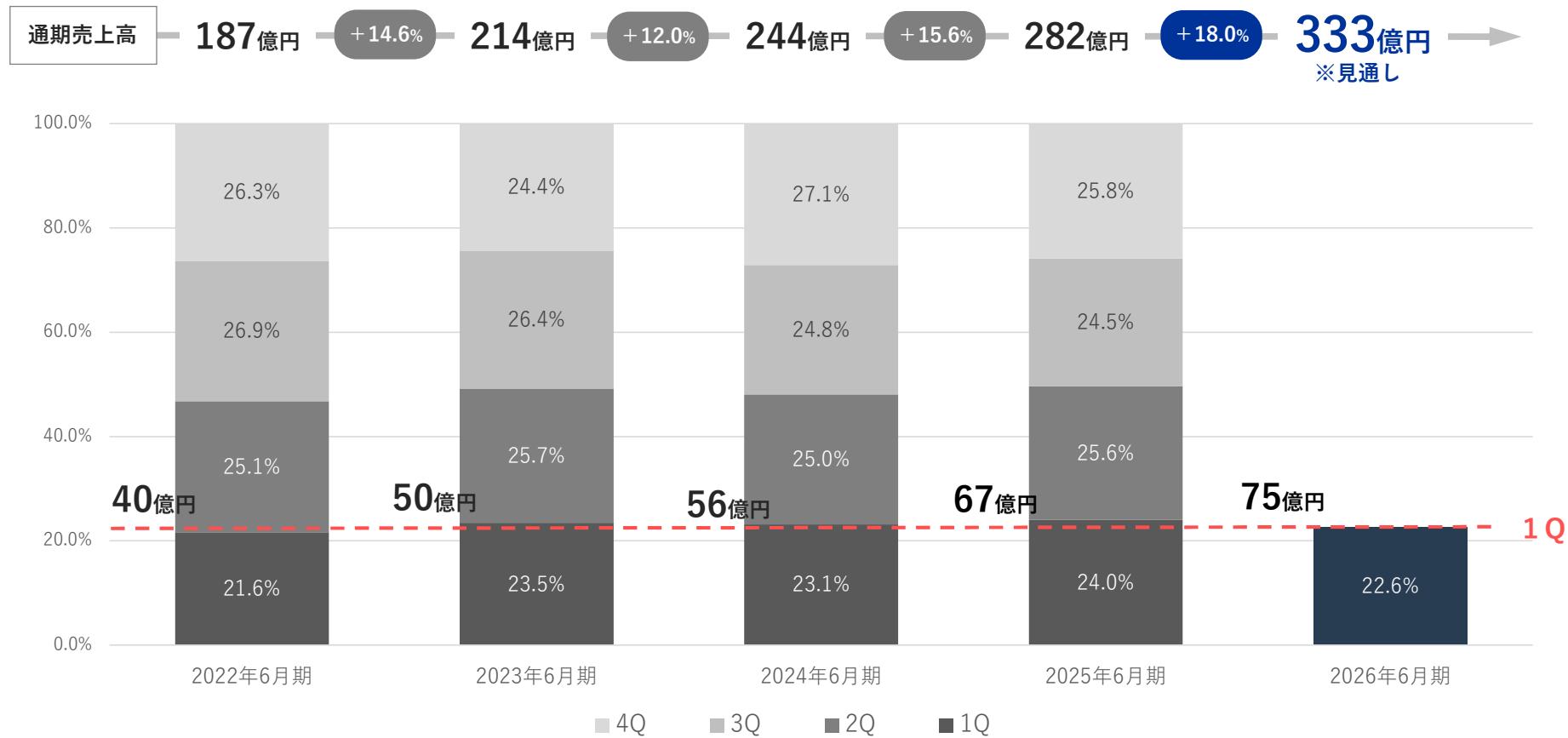
決算概要

- 売上高は、日本企業において中長期的なトレンドとなりつつある「データ及びデジタル技術を活用した企業経営・企業活動の高度化（DX）」を通じた競争力維持・強化のための投資ニーズは引き続き堅調であり、連結決算開示事業、デジタルトランスフォーメーション推進事業が引き続き高い売上成長を実現したことにより、前年同期比10.9%増の7,515百万円
- 営業利益に関しては、業務拡大に応じた人件費及び採用費、オフィスの増床に伴うオフィス費用、将来成長を実現するための投資性の費用等の絶対額が増加したもの、自社リソースを補うための外注加工費の減少や費用増を上回る增收効果により前年同期比22.8%増の営業利益1,341百万円

(百万円)	2026年6月期 第1四半期	前年同期比	
		前年実績	増減率
売上高	7,515	6,776	10.9%
売上原価	4,088	3,789	7.9%
売上総利益	3,427	2,987	14.7%
売上総利益率	45.6%	44.1%	1.5pt
販管費	2,085	1,895	10.0%
営業利益	1,341	1,091	22.8%
営業利益率	17.8%	16.1%	1.7pt
純利益	852	615	38.5%
純利益率	11.3%	9.1%	2.3pt
EBITDA	1,472	1,217	21.0%
EBITDAマージン	19.6%	18.0%	1.6pt

通期売上高見通しにおける進捗状況

- FY26 1Q売上高は通期売上高見通しの22.6%で進捗しており、過去4年間と同等の水準で推移



| 2026年6月期 第1四半期 営業利益の増減（対前年比較）

FY25 第1四半期営業利益実績

1,091

増収効果

+681

人件費および採用費

-359

外注費

+23

IT費

-11

その他費用

-85

FY26 第1四半期営業利益実績

1,341

人件費・採用費

持続的な成長を実現するために活発な採用活動を行っており、増収の枠内で人件費・採用費は増加

外注費

自社社員の育成により外部リソースからの切り替えが進捗したことにより外注加工費は減少

IT費用

業務拡大に応じた人員増とクラウド化対応（顧客向け、社内環境）により増加

その他費用

オフィスの増床に伴うオフィス費用やソフトウェアビジネス強化を中心とした将来成長を実現するための投資性費用などが増加

事業セグメント別業績（売上高、営業利益、営業利益率）

- 連結決算開示事業は、今期より一部の保守サービスの取引が経営管理ソリューション事業から移管されたことに加え、アウトソーシングビジネスが引き続き高い成長率を維持して増収、コスト増はあるものの価格戦略等の影響もあり、営業利益も売上増を大きく上回る増益
- DX推進事業については、「クラウド・データ・プラットフォームの構築」等の案件増加が増収を牽引、自社リソースを補うための外注費も減少し、営業利益も前年同四半期を大きく上回る増益
- 経営管理ソリューション事業は、上記記載の保守サービス（約85百万円）の移管により売上および利益水準が低下、マーケティング費用の増加等もあり営業利益は減益

	(百万円)	2026年6月期 第1四半期	前年同期比	
			前年実績	増減率
連結決算開示	売上高	2,331	1,980	17.7%
	営業利益	737	493	49.4%
	営業利益率	31.6%	24.9%	6.7pt
DX推進	売上高	2,844	2,481	14.6%
	営業利益	598	438	36.5%
	営業利益率	21.0%	17.7%	3.4pt
経営管理ソリューション	売上高	2,310	2,299	0.5%
	営業利益	232	370	-37.3%
	営業利益率	10.1%	16.1%	-6.0pt
その他	売上高	122	105	15.5%
	営業利益	28	43	-34.7%
	営業利益率	23.3%	41.1%	-17.9pt

事業セグメント別業績（受注状況）

- いずれのセグメントも受注額は増加、特に連結決算開示事業においては、経営管理ソリューション事業から一部保守サービスの移管を受けたこともあり、前年同期比で著しく高い増加率となった
- DX推進事業の受注残については、昨年度に大型請負案件受注によるプラス影響があったことから前年同期比ではマイナスはあるものの、過去1年とほぼ同水準での推移
- 経営管理ソリューション事業は保守サービスの移管影響もあり、受注残は前年同期比マイナス

	(百万円)	2026年6月期 第1四半期	前年同期比	
			前年実績	増減率
連結決算開示	受注額	2,889	2,260	27.8%
	受注残	5,549	4,794	15.7%
DX推進	受注額	2,731	2,426	12.5%
	受注残	1,899	2,015	-5.8%
経営管理ソリューション	受注額	2,203	2,080	5.9%
	受注残	3,064	3,781	-19.0%
その他	受注額	121	107	12.7%
	受注残	198	173	14.3%

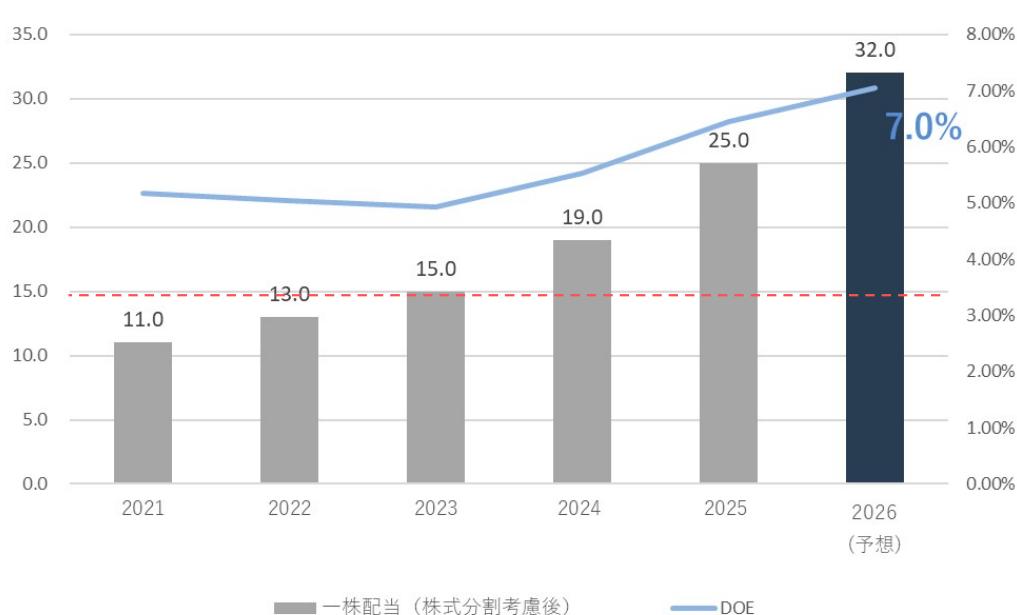
| 2026年6月期 通期業績予想

- 売上高は対前年比18.0%増の33,300百万円と増収を見込む
- 営業利益は、対前年比10.8%増の5,100百万円、
当期純利益は、対前年比1.9%増の3,500百万円と増益を見込む

	2025年6月期 (実績) (百万円)	2026年6月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	28,227	33,300	5,072	18.0%
営業利益	4,604	5,100	495	10.8%
営業利益率	16.3%	15.3%	-	-
当期純利益	3,434	3,500	65	1.9%

■ 株主還元

- 2025年6月期のDOEは6.3%で、東証上場企業平均（12ヶ月）の3.2%を大幅に上回る水準を達成
- 2026年6月期の1株当たり配当は、安定的な配当（原則、1株当たりの配当金が前期の水準を下回らないこと）を継続して行う方針に伴い、1株当たり32円の予想、DOEは7.0%となる水準



株主還元の考え方

- 配当は株主還元政策の重要事項の位置づけ
- 純資産配当率などの指標に注目することで、毎期の業績に大きく左右されることなく、配当金額を安定的に維持ないしは向上していくことを指向
- 純資産配当率は東証全上場企業の平均値を常に上回り、新中期経営計画の期間内に8%の達成を目指す

将来見通しに関する注意事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。

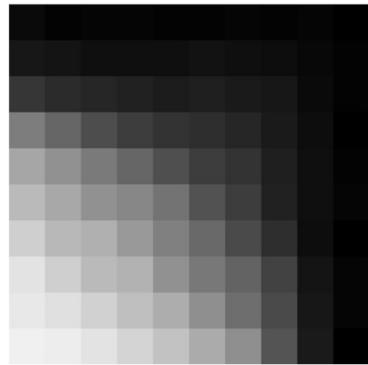
しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになれるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われないようにお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社アバントグループ IR室

ir@avantgroup.com



AVANT GROUP

SUSTAINABILITY IS VALUE